

レース報告書

2026 SUPER FORMULA 第3戦（代替開催）・第6戦・第7戦

富士スピードウェイ

7月18日（土）第6戦	天候：曇/雨	（観客動員数：22,700人）
7月19日（日）第3戦・第7戦	天候：晴	（観客動員数：29,700人）

第6戦

予選結果

#64：10位

#65：14位

決勝結果

#64：13位

#65：6位

レポート

鈴鹿大会から約2カ月。今回の富士大会も2レース制で開催される予定だったが、悪天候のためキャンセルとなった第3戦の代替レースが行なわれることになり、2日間で3レースが開催されるスケジュールが組まれた。PONOS NAKAJIMA RACINGの2台はここまで今ひとつ波に乗り切れていないが、シリーズ中盤の大事なこの3レースでなんとしても好結果を残し、タイトル争いにも名乗りを上げたいところ。まずは第6戦の公式予選が8時15分にスタートし、霧がかかる不安定な天候のなか、Aグループのイゴール・オオムラ・フラガがアタックをする。結果は7番手となり、ここで予

選を終えてしまう。一方のBグループの佐藤蓮は3番手タイムでQ2へ。Q2も難しいコンディションのなかでスリックタイヤを履いてコースインをしたが、最終的にウェットタイヤでのアタックで10番手となった。

決勝レースは41周回で16時15分にフォーメーションラップがスタート、14番手スタートのフラガは2つポジションを上げて、10番手スタートの佐藤は3つポジションを下げてオープニングラップを終える。暗い雲に覆われて、いつ雨が降るかわからないコンディションのなか、2台は周回を重ねていく。佐藤はポジションを落としながらも何とかペースを維持して周回し、12周目にピットインを行なってタイヤ交換を済ませ21番手コースに戻る。17周目にピットインを行なったフラガは佐藤の前でコースに戻る。フラガはペースよく周回し少しずつポジションを上げていく。最終的に8ポジションアップの6位フィニッシュとなりポイントを獲得した。一方の佐藤も後半のペースに期待が高まったが、フラガとは逆にペースが上がらず13位となった。

コメント

総監督：中嶋 悟

「予選がうまくいかなかったわりには、フラガがしっかりとポイントを取ってくれたのは良かった点だと思います。一方で佐藤は、タイヤ交換後にペースが伸び悩み、ポジションを落としてしまったのは残念でした。明日も2レースありますので、今日の内容をしっかり振り返り、2台ともに上位で終わられるように引き続き頑張ります」

監督：伊沢 拓也

「今大会を前に富士で行なわれた合同テストが非常に好調だったので、今回は勝ちに行かなければならないと考えて臨みました。昨日のフリー走行はウェットコンディションでしたが、その中で好調だったイゴール選手が、今日の予選でQ1敗退になるとは正直思っていませんでした。佐藤選手もQ1は良かったものの、Q2で伸び悩んでしまいました。決勝では、スタート後に佐藤選手が少しポジションを落としたことで2台が近い位置で走る展開になったことと、序盤に雨がぱらついたことが重なり、レースの組み立てが難しくなりました。周囲が様子見の状況の中で、僕たちはポイント圏外にい

たこともあり、少し早めのピットインを選択しました。イゴール選手はセカンドスティントのペースが非常に良く、ピットイン前は 12~13 番手あたりを走行していたところから、6 番手までポジションを上げてくれたのは大きな収穫でした。佐藤選手もペースが良い場面はあったのですが、タイヤ交換後は思うように伸ばすことができず、結果的にポイント圏外でのフィニッシュになってしまいました。2 台体制で戦っている強みを活かし、今回のレースで見えた 65 号車の良かった部分を 64 号車にもフィードバックしていきます。明日のレースでは、2 台そろって上位でフィニッシュし、この富士ラウンドをしっかりと締めくくりたいと思います」

#64 : 佐藤 蓮

「昨日まで少し不調だったウェットコンディションでしたが、アジャストを加えた結果クルマが大きく変化し、それが良い方向に出たのが今日の Q1 だったと思います。ただ、Q2 に向けてはウォームアップのやり方やセットアップの方向性を少し間違えてしまい、その点は非常に悔しいところです。決勝では、まずスタートでクラッチのバイトが良くなく、なかなか反応しないうちに周りに飲み込まれてしまいました。雨も降ってきたこともあり、周りとは逆の戦略を採って後半の追い上げを目指しましたが、最終的にはペースが上がらず、防戦一方という展開になってしまい、ポイントも獲れずに反省点の多い一日になってしまいました。チームとしてはイゴール選手のペースが非常に良かったので、お互いの違いがどこにあったのかをしっかりと確認し、明日は強いレース内容とリザルトを残せるように臨みたいと思います」

#65 : イゴール・オオムラ・フラガ

「昨日のフリー走行はリザルトこそそこそこでしたが、自分の中では感触が良くて、ウェットコンディションの予選に対しても大きな不安はありませんでした。ただ、いざ走ってみると雨量のわりにグリップ感がなくて、戻ってきてタイムを確認すると、やはり思っていたほどの位置には届いておらず、残念ながら Q1 突破とはなりません。決勝の序盤は抜きつ抜かれつの苦しい展開でしたが、少しレースが落ち着いたタイミングでタイヤ交換をしてセカンドスティントに入ってから、状況が良くなりました。ファーストスティントのときよりもしっかりとタイヤに熱を入れることができましたし、クリーンエアで走れたこともあって、自分たちのペースを出せたと思います。その

背景には、レース序盤の苦しい中でも粘って走り切ったことがつながっているのかなと感じています。今日のレース内容は、明日のレースのベースになると思っています。一方で、今回の週末はリザルト以上に『何が良くて、何が悪かったのか』が自分の中でまだはっきりしきれておらず、そのモヤモヤが気になっています。明日はそのあたりをしっかりと整理できるようなレース内容とリザルトにして、納得して週末を締めくくりたいです」

第3戦 決勝結果

#64 : 9 位

#65 : 優勝

レポート

第3戦の代替レースとして行なわれた一戦。決勝グリッドはオートポリスで行なわれた公式予選の結果が適用され、佐藤は7番グリッド、フラガは9番グリッドからスタートを切った。スタートでフラガは好ダッシュを決めて4番手に浮上。一方の佐藤はポジションを下げた。直後にスタート時のアクシデントによりセーフティカーが導入され、そのままセーフティカーランが続いたのち、10周目にリスタートが切られる。リスタート直後の1コーナーでフラガは前車をとらえにかかり、さらにトップ争いをしていて2台がコースオフを喫したことで、フラガがトップに躍り出る。その後すぐに別のアクシデントが発生し、再びセーフティカーが導入される。15周目のリスタートでもフラガはこれをうまくしのぎ、トップの座をキープ。2番手以下を引き離しながらチェッカーまで走りきり、今シーズン初優勝を飾った。一方の佐藤は、ペース的に苦しい状況の中でも粘り強く周回を重ね、ポイント圏内となる9位でチェッカーを受けた。

コメント

総監督：中嶋 悟

「イゴールが完璧なレースを見せてくれました。予選 9 位からの優勝、カッコ良かったです」

監督：伊沢 拓也

「イゴール選手は、スタートもリスタート後も非常に強い走りを見せて一気にトップに立ち、昨年以来の優勝を飾ってくれました。個人的には、もっと早く今年も勝たせてあげたかったのですが、なかなかそれができていなかったのも、今回やっと形になってくれたと思います。一方の佐藤選手は、ペース的には苦しい中でもなんとかポイントを獲ってきてくれて、チームとしては 2 台そろって入賞という結果を出すことができました。ただ、内容としてはそれほどうまくいったとは言えない部分もありますので、午後の第 7 戦に向けては、いろいろと対策を講じていきたいと思います」

#64：佐藤 蓮

「前日の第 6 戦のレースを踏まえて、良くなかったところが改善されるだろうと考えたセットアップで臨みました。かなり大きな変更だったのですが、その割には反応があまりなかったと感じています。実は富士テストのときからそのような兆候はあったのですが、それがどんどん悪化しているような状況です。ポイント圏内の 10 位でフィニッシュできたのは良かったかもしれませんが、このままでは午後の第 7 戦ではもっと苦しいレースになると思うので、これからチームと改善策を考えていきたいです」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「このシーズン前半は、本当に思うようにいかないことが続きました。昨年の終盤のようなクルマの動きもなく、上位を狙えるタイミングでは自ら取りこぼしてしまったこともあり、さまざまなことがぎくしゃくした中で戦ってきたと感じています。スーパーフォーミュラ 1 年目だった昨年、さまざまなことを学び、今シーズンは自分の足りないところを鍛え、強くするために努力し、準備万端な状態で挑んでいただけないかと、本当に

悔しい前半戦でした。この週末も、金曜日の練習走行や土曜日の予選ではいまひとつな状況でしたが、今回のようにチャンスが目の前に訪れたときに、しっかりとつかむことができたのは本当にうれしいですし、これを機に流れを変えていきたいと思っています」

第7戦

予選結果

#64 : 11 位

#65 : 4 位

決勝結果

#64 : 出走せず

#65 : 2 位

レポート

日曜日の2レース目となる第7戦は15時35分にスタートする予定だったが、フォーメーションラップ中に佐藤のマシンからオイル漏れが発生し、スタートは45分ディレイとなった。佐藤はピットに戻ったものの、そのまま出走はかなわず、残念ながらマシントラブルにより戦列を離れることになった。その一方で、他のマシンはセーフティカー先導でレーススタートとなり、4周のセーフティカーランを経て5周目に実質のレーススタートが切られた。4番手スタートのフラガは、リスタート直後の1コーナーで勝負に出て前の2台をとらえ、一気に2番手へ浮上。8周目には後ろのマシンにパスされて3番手にポジションを落とすものの、依然として速いペースで周回を重ねていく。25周目にピットインを行ない、チームの素早い作業でフラガをコースへと送り



出す。全車のピットインが終わる頃には 4 番手を走行していたが、レース後半も高いペースを維持しながら前車 2 台を巧みに攻略し、最終的に 2 位でチェッカーを受けた。

コメント

総監督：中嶋 悟

「佐藤はトラブルに泣かされましたが、フラガはいいレースをしてくれました。ハードな 2 日間でしたが、たくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「イゴール選手は予選 4 番手から、セーフティカー明けのリスタートでしっかり順位を上げてきてくれました。今回のレースはピットタイミングが非常にシビアな中で、結果的に僕たちとしては一番いいタイミングでイゴール選手をピットに入れることができ、作業も非常にうまくいきました。残念ながら優勝には届きませんでした。今できる中では最高の結果を残せたと思います。佐藤選手については不運でした。まだクルマをしっかりと調査する前なので何が起きたのかは正直なところ分かりませんが、ギアボックスが壊れてしまったのは事実ですし、皆さんにご迷惑をおかけしたことは間違いありません。本当に申し訳なく思っています。何とか浮上するきっかけをつくろうと挑んだレースだっただけに、なによりも走れなかったことが非常に残念です。まずは原因をしっかりと突き止め、次戦 SUGO 大会では 2 台そろって上位で戦えるよう、しっかり準備していきたいと思っています」

#64：佐藤 蓮

「午前中の第 3 戦でセットアップに対する反応があまりなかったもので、第 7 戦に向けては大きく方向性を振って臨みました。ただ、レコノサンスラップでも本当に違いが分からないほどで、今週は何かしらの問題を抱えていたということには気づいていましたが、原因を特定することができませんでした。詳しく調べてみないと分かりませんが、現時点で「これなのかな」というポイントは見つかったので、それが原因であれば、修正すればちゃんと戦えるようになると思っています。チームとしてはイゴール選手



の調子が良かったので、同じような状態に持っていくことができれば戦える自信はありますし、SUGO 大会では巻き返したいです」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「テストで感じていた手応えまで戻せたのかなという週末になりました。ペースも全く悪くなかったですし、訪れたチャンスはきちんとものにできました。ピットインの判断や作業自体も完璧で、すべてが良かったレースです。ただ、今回優勝した太田格之進選手と比べると、スピードという部分ではそれほど差はないと思いますが、今は彼の方が懐の広さというか、幅が広いように感じます。今回は、彼に勝つことは難しかったです。とはいえ、シーズン中盤戦で優勝し、連続して表彰台にも上がることができました。残るラウンドはSUGOと鈴鹿、そして秋の富士大会です。その中でもSUGOと鈴鹿は高速コーナーがメインとなるサーキットで、そういったコースの方がチャンスがあると思っています。うまくいくか分からない部分もありますが、シーズン後半戦に期待しています」

※次戦は8月8日・9日にスポーツランド SUGO で開催されます。

Princess Yohko Cup 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 3.6.7

SF - 4



Fuji Speedway(4,563m)

SUPER FORMULA ROUND 6

Qualifying
Final classification

2026/7/18 10:45

Weather :Cloudy/Rain

Track :Wet

Pos	No	Name	Car	Engine	Best Time	
					Q2	Q1
1	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.166	1'33.892
2	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.429	1'33.906
3	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.501	1'33.786
4	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.617	1'33.309
5	97	Roman Stanek	た'の Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.663	1'34.241
6	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.688	1'33.553
7	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'32.706	1'33.409
8	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'32.785	1'33.980
9	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'33.030	1'33.644
10	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'33.185	1'33.375
11	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'33.247	1'33.869
12	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'33.273	1'33.171
13	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'33.660
14	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'34.400
15	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'33.703
16	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'34.559
17	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'33.764
18	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'34.933
19	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'33.849
20	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'34.976
21	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'34.287
22	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'35.143
23	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'34.720
***** NOT CLASSIFIED (Q1A : 1'40.351 - 107% / Q1B : 1'39.692 - 107%) *****						
10	Juju		HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		2'06.719

(Q1A) Start 8:15'00 Finish 8:25'00, (Q1B) Start 8:30'00 Finish 8:40'00, (Q2) Start 8:50'00 Finish 9:00'00

Entry :24 Start :24

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa 	Clerk of the Course : Moriyuki Hori 	Chief Steward : Akira Iida
--	---	--------------------------------

Princess Yokho Cup 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 3.6.7

SF-11

SUPER FORMULA ROUND 6

2026 / 7 / 18 18:35

FUJISPEEDWAY

Final Classification

Weather : Cloudy/Rain

Track : Dry & Wet

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Car	Engine	Lap	Total Time	Gap	Int	Best Time	Lap
1	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'43.973			1'24.714	23
2	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'45.515	1.542	1.542	1'24.925	27
3	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'48.070	4.097	2.555	1'24.995	37
4	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'57.155	13.182	9.085	1'25.433	29
5	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'05.677	21.704	8.522	1'25.133	29
6	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'09.035	25.062	3.358	1'25.077	23
7	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'10.552	26.579	1.517	1'25.070	19
8	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'10.815	26.842	0.263	1'25.501	3
9	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'16.392	32.419	5.577	1'25.689	22
10	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'17.159	33.186	0.767	1'25.074	40
11	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'17.217	33.244	0.058	1'25.186	36
12	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'19.275	35.302	2.058	1'26.257	4
13	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'19.981	36.008	0.706	1'25.102	17
14	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'23.883	39.910	3.902	1'25.668	19
15	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'24.216	40.243	0.333	1'25.233	40
16	97	Roman Stanek	ナビ'クル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'31.528	47.555	7.312	1'25.340	29
17	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'32.305	48.332	0.777	1'25.405	19
18	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'37.078	53.105	4.773	1'25.542	26
19	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'37.834	53.861	0.756	1'25.390	29
20	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'45.294	1'01.321	7.460	1'26.001	29
21	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:00'48.420	1'04.447	3.126	1'25.995	17
22	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	40	59'49.939	1Lap	1Lap	1'26.705	27
23	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	40	59'53.258	1Lap	3.319	1'25.888	24
24	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	40	1:00'58.765	1Lap	1'05.507	1'25.095	3

***** NOT CLASSIFIED (36Laps) *****

Fastest Lap

1'24.714 (23 / 41) 193.909 km/h 6 Kakunoshin Ohta / DOCOMO DANDELION M6Y SF23

Start Time :16:19'29 Finish Time :17:19'12.973

Entry :24 Start :24 Finish :24

WET宣言(16:30)

CarNo.9 黒白旗提示(ドライビングマナー)(16:27)

CarNo.5 黒白旗提示(走路外走行複数回)(17:00)

CarNo.38 黒白旗提示(ドライビングマナー)(17:36)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa

Clerk of the Course : Moriyuki Hori

Chief Steward : Akira Iida

Timing and Results by SEIKO

Princess Yohko Cup 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 3.6.7

SF-13

SUPER FORMULA ROUND 3

2026/7/19 12:05

FUJISPEEDWAY

Provisional Classification

Weather : Cloudy

Track : Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Car	Engine	Lap	Total Time	Gap	Int	Best Time	Lap
1	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'30.689			1'23.976	10
2	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'32.768	2.079	2.079	1'24.569	15
3	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'34.453	3.764	1.685	1'24.760	16
4	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'39.305	8.616	4.852	1'25.221	19
5	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'39.992	9.303	0.687	1'25.517	19
6	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'40.954	10.265	0.962	1'25.124	16
7	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'42.498	11.809	1.544	1'25.215	18
*1	8	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'43.324	(47'33.324+10sec)	0.826	1'24.916	15
9	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'45.151	14.462	1.827	1'25.724	16
10	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'45.366	14.677	0.215	1'25.470	19
11	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'46.052	15.363	0.686	1'25.113	19
12	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'47.523	16.834	1.471	1'25.689	22
13	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'48.304	17.615	0.781	1'25.662	10
14	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'51.481	20.792	3.177	1'26.010	15
15	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'53.050	22.361	1.569	1'26.026	24
16	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'53.532	22.843	0.482	1'25.677	25
17	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	47'56.245	25.556	2.713	1'25.798	25
18	9	Seita Nonaka	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'57.649	26.960	1.404	1'26.414	17
19	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	47'58.396	27.707	0.747	1'25.741	24
*2	20	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	48'05.596	(47'55.596+10sec)	7.200	1'25.897	16
*3	21	Roman Stanek	パナソニック Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	25	48'13.787	(47'43.787+30sec)	8.191	1'25.552	16
***** NOT CLASSIFIED (22Laps) *****										
38		Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	17	36'40.516	8Laps	8Laps	1'24.735	15
10		Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	9	21'21.863	16Laps	8Laps	2'11.785	9
1		Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	0					

Fastest Lap

1'23.976 (10 / 25) 195.613 km/h 65 Igor Omura Fraga / PONOS NAKAJIMA RACING SF23

Start Time :10:09'28 Finish Time :10:56'58.689

Entry :24 Start :24 Finish :21

SC導入時刻 10:10'22(0Lap)~10:30'43(9Lap)/10:32'56(10Lap)~10:41'22(14Lap)

*1 CarNo.6, タイムペナルティ10秒(統一規則第26条18.「路面をブローで乾かした」)

*2 CarNo.4, タイムペナルティ10秒(統一規則第26条18.「路面をブローで乾かした」)

CarNo.4, 訓戒(公式通知No.19 5.「スタート練習中のホワイトラインカット」)

*3 CarNo.97, 罰金10万円(統一規則第26条9.「ピットレーン速度規制」)

CarNo.97, 訓戒及び罰金10万円(L項第4章第5条d)「ファストレーンでの追越し」)

CarNo.97, 競技結果に30秒加算(H項.「SCリスタート時追越し」)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa

Clerk of the Course : Moriyuki Hori

Chief Steward : Akira Iida

Timing and Results by SEIKO

Princess Yohko Cup 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 3.6.7

SF - 8

SUPER FORMULA ROUND 7

2026/7/18 13:00



Fuji Speedway(4,563m)

Qualifying
Final classification

Weather : Cloudy

Track : Wet

Pos	No	Name	Car	Engine	Best Time	
					Q2	Q1
1	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.815	1'23.234
2	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.184	1'23.636
3	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.186	1'23.319
4	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.307	1'23.550
5	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'23.321	1'23.253
6	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.477	1'23.994
7	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'23.611	1'23.973
8	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'23.635	1'23.460
9	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.709	1'23.997
10	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'23.845	1'23.633
11	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.924	1'23.822
12	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'37.156	1'24.197
13	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'23.696
14	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.287
15	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'23.817
16	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.833
17	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'23.846
18	97	Roman Stanek	た'フル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.882
19	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'23.870
20	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.907
21	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.207
22	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.708
***** NOT CLASSIFIED (Q1A : 1'29.490 - 107% / Q1B : 1'29.060 - 107%) *****						
10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23		HONDA/M-TEC HR-417E		2'35.323
3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23		TOYOTA/TRD TRD01F		

RED FLAG (10:41.27~10:46.00)

(Q1A) Start 10:35'00 Finish 10:49'33, (Q1B) Start 10:55'00 Finish 11:05'00, (Q2) Start 11:15'00 Finish 11:25'00

Entry :24 Start :24

(Q1A):CarNo.10(1'29.677) - 当該周回タイム採択されない(統一規則第19条2.「走路外走行」)

(Q2):CarNo.39(1'23.683) - 当該周回タイム採択されない(統一規則第19条2.「走路外走行」)

* (Q1A):CarNo.3, Q1全タイム削除(統一規則第27条7.「赤旗原因」)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa 	Clerk of the Course : Moriyuki Hori 	Chief Steward : Akira Iida
--	---	--------------------------------

Pos	No	Name	Car	Engine	Lap	Total Time	Gap	Int	Best Time	Lap
1	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'32.478			1'24.980	32
2	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'37.462	4.984	4.984	1'25.107	27
3	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'39.055	6.577	1.593	1'24.717	41
4	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:05'47.767	15.289	8.712	1'25.086	24
5	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'52.033	19.555	4.266	1'24.993	18
6	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'56.800	24.322	4.767	1'25.107	14
7	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:05'58.307	25.829	1.507	1'24.835	15
8	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:05'59.222	26.744	0.915	1'25.457	14
9	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'00.030	27.552	0.808	1'25.414	20
10	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'00.713	28.235	0.683	1'25.437	32
11	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'01.563	29.085	0.850	1'25.852	28
12	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'02.055	29.577	0.492	1'25.162	31
13	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'03.275	30.797	1.220	1'25.068	30
14	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'04.372	31.894	1.097	1'25.370	30
15	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'05.896	33.418	1.524	1'25.207	31
16	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'08.910	36.432	3.014	1'25.689	16
17	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'09.607	37.129	0.697	1'25.055	14
18	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'21.409	48.931	11.802	1'25.069	22
19	97	Roman Stanek	ナビクル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'22.092	49.614	0.683	1'25.251	32
20	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'30.102	57.624	8.010	1'25.912	15
21	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:06'31.292	58.814	1.190	1'25.826	26
***** NOT CLASSIFIED (36Laps) *****										
10	JuJu	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	33	1:06'54.966	8Laps	8Laps	1'25.725	24	
9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	23	45'17.231	18Laps	10Laps	1'26.723	9	
64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		DNS					

Fastest Lap

1'24.717 (41 / 41) 193.902 km/h 5 Tadasuke Makino / DOCOMO DANDELION M5S SF23

Start Time :16:20'00 Finish Time :17:25'32.478

Entry :24 Start :23 Finish :21

SC導入時刻 START~16:33'25(5Lap)

CarNo.50 黒白旗提示(ドライビングマナー)(16:44)
CarNo.10 黒白旗提示(走路外走行複数回)(16:54)
CarNo.16 黒白旗提示(走路外走行複数回)(16:57)
CarNo.4 黒白旗提示(走路外走行複数回)(17:12)
CarNo.7 黒白旗提示(走路外走行複数回)(17:16)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa

Clerk of the Course : Moriyuki Hori

Chief Steward : Akira Iida

Timing and Results by SEIKO